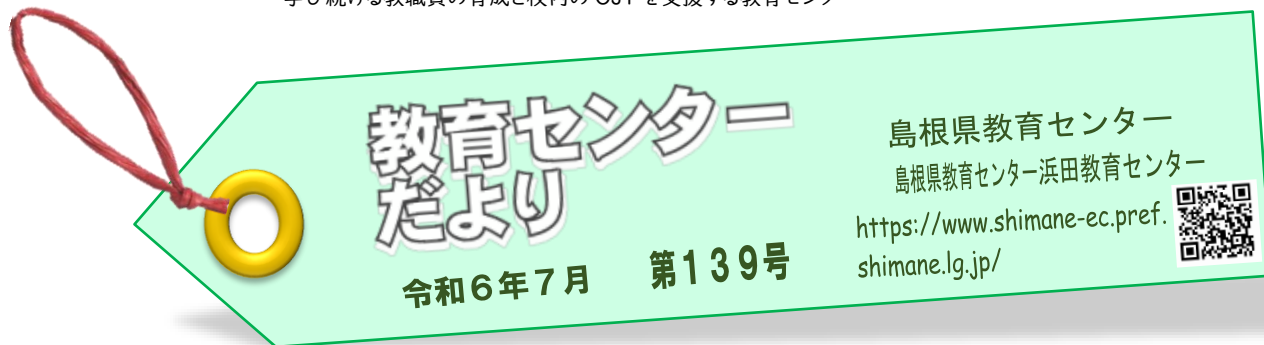




「不 易」

島根県教育センター 所 長
島根県教育センター浜田教育センター 長

大場 尚樹



日頃は、島根県教育センター及び島根県教育センター浜田教育センターの事業につきましてご理解・ご支援をいただきありがとうございます。当センターは今年度も「学び続ける教職員の育成と校内のOJTを支援する教育センター」をスローガンとし各種事業を実施しております。

さて、2022年に米国のキャリアコーチであるブライアン・クリーリー氏がSNSで使い、急速に広がった「Quiet Quitting」という言葉をご存じでしょうか。「静かなる退職」と訳せるこの言葉は、文字通りの仕事を辞めることを意味しているのではなく、定められた以上には仕事に取り組まない働き方を示すようです。当時、この言葉は瞬く間に世界中を駆け巡り、米国の経済誌や英国の大手一般新聞をはじめとした様々な媒体で取り上げられました。新型コロナウイルスの感染拡大を契機に広がったりリモートワークが、働くことに対する人々の考え方に少なからず影響を与えたということでしょうか。

「静かなる退職」という言葉を教職員に当てはめて考えるとき、教職員給与特別措置法の見直し等の処遇改善や働き方改革、福利厚生の実施だけでなく、教職の魅力や価値を感じる契機となるような、研修や教育情報の提供・支援を行うことにより、教職員の皆様の教職に対するモチベーションや情熱、使命感を高めていくことが重要ではないかと改めて感じます。

先日、「令和5年度島根県内高校3年生を対象とした進路決定に関する意識等の把握に係る調査」のアンケート結果が公表されました。5年前（平成30年度）の前回調査との比較も示されています。「県内への進学や就職を決めた理由」について「自分が今住んでいる地域や島根県が好き」との回答は24.2%から30.4%に、「地域への意識」について「生まれ育った地域への愛着や誇りがある」の肯定的な回答は84.2%から86.6%に増えていました。

この結果の背景は様々あるとは思いますが、島根県がこれまでも力を入れて取り組んできた、幼児教育施設における地域と連携した保育・教育、小中学校におけるふるさと教育、高等学校を中心とした地域課題解決型学習等の大きな成果であることは間違いありません。精一杯の愛情と熱意をもってこれらの保育・教育に取り組んでいただいている、県内すべての教職員の皆様の労をねぎらうとともに、敬意と感謝をこの紙面をお借りしてお伝えしたいと思います。本当にありがとうございます。上述のアンケート結果のような努力の成果の一端を様々な形で伝えていくことで、教職の価値を再認識していただければ幸いです。

時代や社会が変化しても、子どもたちの成長を実感できる喜び、ともに学ぶことで共有できる感動、教育が実を結んだときの達成感等、教職には多くの魅力があります。働くことに対する考え方・価値観が多様化する中であっても、島根県教育センター、島根県教育センター浜田教育センターは、教職員の皆様が教職の魅力や価値、やりがいを感じながら自信と誇りをもって職務に邁進していただけるよう、研修等の事業の充実に努めて参ります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。